（別紙4（2））

事業所名　認知症高齢者グループホーム まつばら荘

目標達成計画

作成日：　令和　2年　2月　11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域との交流は行われているが、特定されてしまっているため、今後さらに交流を広げていく必要がある。	地域との関わりを今まで以上に持つために、事業所を知っていただけるよう発信していく。	地域ボランティアや運営推進会議で出た情報を元に、地域の行事やイベントに積極的に参加して関わりを密にしていく。	１０ヶ月
2	33	看取りの体制をとってはいるが、未だに看取りという状況でお見送りを行えていないのが現状である。そのため、看取りの場面に立ち会った職員の不安は十分に考えられる。	職員への研修等を継続的に行い、看取りに備え体制整備に努める。	外部、内部の研修に積極的に参加する。グループホーム会議の場を利用し、定期的に内部研修を行うことで職員の不安軽減に繋げていく。	１２ヶ月
3	35	火災以外の自然災害を想定した訓練が必要。又、一部の職員ではなく全ての職員が訓練に参加し、そこで出た課題を共有し全体で改善に努める必要がある。	自然災害を想定し、ハザードマップの活用を全職員が周知する。	有事に備え、地域の避難場所への誘導を実際に実施する。車に乗せ移動することで、時間や必要なことが把握できる。	６ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。